

五十鈴中央（本社・
神奈川県大和市、社長
・諫山裕一郎氏）の青

梅サービスセンター
（SC）東京都青梅市、
SC長・中根裕氏）は
2月1日、連続無災害
記録6千日を達成し、
約16年半にわたり無事
故を継続している。同
社では大和SCも3月
下旬に1千日を迎える
見込みのほか、富士S
Cも500日を突破す
るなど、全社で安全意
識が高まっている。
青梅SCは18人体制
の小規模拠点だが、そ

「止める・呼ぶ・待つ」徹底、全員参加の安全文化が結実

五十鈴中央・青梅SC 「無災害6000日」達成

れゆえに全員が工場の係なくストリートに意社で『ゼロ』へのこだわ業務進ちょくを把握見を言い合える風通しり掲げており、青梅し、柔軟な連携が可能な良い文化が根付いてSCでは社員が各ロッな点が強みだ。現場のいる。人員が限られるカーに自ら決めた「ゼ安全意識について、田中で、午前と午後で担ロ」の目標を掲示し、中直樹生産長は「『止当業務を交えるなど、毎日その目標意識を確める、呼ぶ、待つ』をイレギュラーな事態に認している。『凡事徹底し、異常があればも全員で安全に対応で底』のスローガンのも必ず止めることを最もきる体制を整えてい」とに、5S活動や「ホウ重視している」と語る。

現場では毎日パトロー 中根SC長は「安全る清掃を徹底しているルを実施。若手からベにゴールはなく、継続ほか、毎朝全員で「一テランまで年齢層は幅こそが重要」とし、マン日無事故で行くぞ！」広いが、人命に関わるネリ化を防ぐ工夫を凝と合唱を行う独自の習安全に関しては上下関らす。今期は五十鈴全慣も、安全意識の統一

に一役買っている。

同SCが5千日の連り、製造業での受賞は連続無災害を達成した際、快挙だったという。諫には、東京労働局長か山社長は「6千日はあくまで通過点。引退した社員も含め、毎日の努力の積み重ねが16年半という記録につながった」と感謝を述べるとともに、「明日からも同じ気持ちで、一日一日無災害を続けていきたい」と決意を新たにした。



連続無災害6千日を達成を祝った

